

こころとからだに、
おいしいものを。



平成 29 年 1 月 21 日

各 位

会 社 名 ダイドグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号：2590 東証第1部)
問 い 合 わ せ 先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長
長谷川 直和
電 話 番 号 06-7166-0077

DyDoグループ新体制のスタートに関するお知らせ
～持株会社体制への移行を完了し、次代に向けた企業価値創造へチャレンジ～

当社グループは、平成 29 年 1 月 21 日付をもって持株会社体制への移行を完了し、
当社は商号を「ダイドグループホールディングス株式会社」に変更いたしました。

また、当社が営んでいた国内飲料事業は、会社分割により承継会社（完全子会社）で
ある「ダイドドリコ株式会社」（平成 29 年 1 月 21 日付にてダイドドリコ分割
準備株式会社より商号変更）へ承継いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

持株会社体制への移行を、将来の飛躍的成長への第一歩と位置付け、次代に向けた企
業価値創造へのチャレンジを続けてまいります。

記

1. 持株会社体制移行の目的

(1) グループ経営強化

持株会社体制に移行することにより、グループガバナンスを強化し、各事業の
責任と権限の明確化を図ります。各事業会社の経営管理指標として、これまでの
「売上高」「営業利益率」に加えて、「ROA」「ROIC」を投資効率指標とし
て設定し、事業会社ごとの資本効率の明確化と現場までつながった指標の展開
により、グループ全体の収益性と効率性の向上を図ってまいります。

(2) 事業領域拡大への機動的対応

事業環境の大きな変化に対応し、グループとしての持続的な利益成長・資本効
率向上を実現していくためには、コア事業である国内飲料事業によるキャッシ
ュフローの継続的拡大へのチャレンジに加えて、これまで積み上げてきた内部
留保を有効活用し、ヘルスケア領域などの収益性・成長性の高い新たな事業領
域を獲得していくことも重要な課題と考えています。M&A 戦略に機動的に対
応できる組織体制を整備し、積極的にチャレンジしていきます。

(3) 海外飲料事業の強化・育成

グループ経営における海外飲料事業の重要性の高まりに対応し、持株会社に海外事業統括部を設置し、海外飲料事業会社の経営管理体制・リスク管理体制の整備につとめます。国内飲料事業とのシナジーの発揮による海外飲料事業の強化・育成を図るため、持株会社が海外飲料事業を直接統括する体制とし、当初予定していた海外飲料管理会社は、当面、設立しないこととしました。

2. 会社分割の当事会社の概要

名 称	ダイドーグループホールディングス株式会社	ダイドードリンコ株式会社
所 在 地	大阪府大阪市北区中之島二丁目2番7号	大阪府大阪市北区中之島二丁目2番7号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高松 富也	代表取締役社長 高松 富也
事 業 内 容	グループ戦略立案および各事業会社の統括管理等	清涼飲料の製造・販売
資 本 金	1,924 百万円	350 百万円
設 立 年 月 日	昭和 50 年 1 月 27 日	平成 28 年 2 月 24 日
決 算 期	1 月 20 日	1 月 20 日
ホ ー ム ペ ー ジ U R L	http://www.dydo-ghd.co.jp/	http://www.dydo.co.jp/

3. 分割後のグループ体制



以上